



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 NOK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7240 URL <https://www.nok.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鶴 正雄
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部 部長 (氏名) 加来 隆志 TEL 03-5405-6372
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	324,368	27.1	14,868	—	21,830	—	13,001	—
2021年3月期第2四半期	255,200	△17.2	△8,612	—	△8,664	—	△10,464	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 18,742百万円 (304.7%) 2021年3月期第2四半期 4,631百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	75.17	—
2021年3月期第2四半期	△60.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	815,627	518,189	57.8	2,725.74
2021年3月期	803,000	502,114	57.0	2,644.14

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 471,466百万円 2021年3月期 457,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2022年3月期	—	25.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	673,300	12.9	29,000	100.4	37,500	104.5	20,500	—	118.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	173,138,537株	2021年3月期	173,138,537株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	169,976株	2021年3月期	169,825株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	172,968,584株	2021年3月期2Q	172,968,873株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 財政状態及び経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）財政状態及び経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスに対するワクチン接種は一定数進んだものの、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施により社会活動や個人消費の動きは鈍く、景気の回復は依然として不透明な状況が続いております。

自動車業界は、昨年は新型コロナウイルスの影響で国内外の需要が落ち込みましたが、現在は回復基調にあります。一方、足元では、半導体等の部品供給不足が深刻化したことや、東南アジア地域での新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウン等が重なり、減産を余儀なくされる状況が続いております。

電子機器業界は、新型コロナウイルスの影響で低迷していたスマートフォンの需要が増加しました。また、ハードディスク向けの需要も堅調に推移しました。

このような環境の中、当社のセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

シール事業におきましては、自動車向けは、半導体等の部品供給不足の長期化に加え、東南アジア地域での新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、需要の回復幅が大きく、販売は増加しました。一般産業機械向けにつきましても、建設機械、工作機械、ロボット等の市場が好調を維持し、販売は増加しました。

その結果、売上高は1,653億4千2百万円（前年同期比34.4%の増収）となりました。営業利益は、人件費・経費の増加があったものの、増収の効果により、182億5千7百万円（前年同期は8億5千4百万円の営業損失）となりました。

電子部品事業におきましては、半導体等の部品供給不足による減産の影響が一部にあるものの、需要の回復により、自動車向け、高性能スマートフォン向けの販売が増加しました。

その結果、売上高は1,460億9千6百万円（前年同期比19.3%の増収）となりました。営業損失は、人件費・経費の増加があったものの、増収の効果により、39億9千5百万円（前年同期は71億7千6百万円の営業損失）となりました。

ロール事業等のその他事業におきましては、ロール事業は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいた複合機および補修用部品の需要が回復傾向にあり、販売は増加しました。特殊潤滑剤事業は、自動車向けが好調に推移し、販売が増加しました。

その結果、売上高は129億3千万円（前年同期比32.3%の増収）となりました。営業利益は、6億1百万円（前年同期は6億9百万円の営業損失）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は3,243億6千8百万円（前年同期比27.1%の増収）となりました。営業利益は148億6千8百万円（前年同期は86億1千2百万円の営業損失）、経常利益は218億3千万円（前年同期は86億6千4百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は130億1百万円（前年同期は104億6千4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、8,156億2千7百万円となり、前連結会計年度末対比で126億2千6百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、棚卸資産、受取手形及び売掛金と保有株式の時価上昇により投資有価証券が増加したことによるものです。

負債合計は2,974億3千7百万円となり、前連結会計年度末対比で34億4千9百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が増加したものの、短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末対比で160億7千5百万円増の5,181億8千9百万円となり、自己資本比率は57.8%となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期業績予想につきましては、見直しを行った結果、売上高を前回予想値より上方修正しております。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想値より下方修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,421	106,554
受取手形及び売掛金	134,489	140,428
電子記録債権	17,183	18,312
棚卸資産	83,680	98,110
その他	12,733	12,968
貸倒引当金	△145	△145
流動資産合計	368,362	376,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	88,821	86,301
機械装置及び運搬具（純額）	101,460	100,498
その他（純額）	49,019	49,540
有形固定資産合計	239,301	236,339
無形固定資産	4,044	3,766
投資その他の資産		
投資有価証券	163,199	169,084
その他	28,268	30,373
貸倒引当金	△176	△165
投資その他の資産合計	191,291	199,292
固定資産合計	434,637	439,398
資産合計	803,000	815,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,968	60,616
短期借入金	76,914	59,342
未払法人税等	3,816	5,032
賞与引当金	10,531	13,895
その他	56,900	56,022
流動負債合計	197,131	194,908
固定負債		
長期借入金	13,161	10,840
繰延税金負債	7,549	9,063
退職給付に係る負債	77,980	77,633
その他	5,063	4,991
固定負債合計	103,755	102,528
負債合計	300,886	297,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	23,288	23,305
利益剰余金	346,531	357,371
自己株式	△230	△230
株主資本合計	392,925	403,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,908	65,367
為替換算調整勘定	14,818	13,525
退職給付に係る調整累計額	△12,298	△11,207
その他の包括利益累計額合計	64,427	67,685
非支配株主持分	44,761	46,723
純資産合計	502,114	518,189
負債純資産合計	803,000	815,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	255,200	324,368
売上原価	225,757	267,598
売上総利益	29,442	56,770
販売費及び一般管理費	38,055	41,901
営業利益又は営業損失(△)	△8,612	14,868
営業外収益		
受取配当金	1,090	1,202
為替差益	—	2,270
持分法による投資利益	—	3,229
その他	1,443	1,428
営業外収益合計	2,533	8,131
営業外費用		
支払利息	1,146	883
持分法による投資損失	375	—
為替差損	557	—
その他	505	286
営業外費用合計	2,585	1,169
経常利益又は経常損失(△)	△8,664	21,830
特別利益		
固定資産売却益	65	114
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	66	115
特別損失		
固定資産除却損	225	210
投資有価証券評価損	193	—
事業構造改善費用	173	—
その他	113	—
特別損失合計	706	210
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,304	21,735
法人税等	81	6,324
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,385	15,411
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,078	2,409
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,464	13,001

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△9,385	15,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,020	3,442
為替換算調整勘定	793	△1,059
退職給付に係る調整額	1,643	1,023
持分法適用会社に対する持分相当額	559	△75
その他の包括利益合計	14,017	3,331
四半期包括利益	4,631	18,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,201	16,259
非支配株主に係る四半期包括利益	1,430	2,483

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	122,994	122,434	9,771	255,200	—	255,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	702	6	198	907	△907	—
計	123,696	122,441	9,970	256,108	△907	255,200
セグメント損失(△)	△854	△7,176	△609	△8,640	27	△8,612

- (注) 1. セグメント損失の調整額 27百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	165,342	146,096	12,930	324,368	—	324,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,121	10	263	1,395	△1,395	—
計	166,464	146,106	13,193	325,764	△1,395	324,368
セグメント利益又は損失(△)	18,257	△3,995	601	14,862	5	14,868

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 5百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内の管理区分の変更に伴い、「ロール事業」を「その他事業」に分類したことにより、報告セグメントを従来の「シール事業」、「電子部品事業」、「ロール事業」及び「その他事業」の4区分から、「シール事業」、「電子部品事業」及び「その他事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。